

令和8年度

伊岐須小 429名の

学校通信 No.38

伊岐須小のゆうき



令和8年6月 2日

飯塚市立伊岐須小学校

校長 松尾 史朗

あせらず落ち着いて学び 笑顔でつながり 頑張らずに成長する 正しい判断力を持った勇気のある子どもの育成

【今回の学校だよりは、電子媒体でのみの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。】

伊岐須小6年生が事前平和学習として、飯塚市ラーニング

ボランティア（ロボラ）メンバーであり、

81年前の長崎で被爆されたご経験をお持ち

の語り部としてご活躍中の荒木幸子先生

に 当時のお話を拝聴することができました。



本日ご講話をしてくださったのは、約50年前に伊岐須小学校で教壇に立たれていた荒木幸子先生です。6月14日（日曜日）～15日（月曜日）に長崎への修学旅行に出発する6年生の児童のみなさんのために、ご入院先の共立病院から、一般社団法人ライフクリエイト：コミュニティクラブのボボロさん（介護福祉士・看護師の吉原様ご夫妻）にご協力いただいてご講話をいただくことができました。

6年生の児童の皆さんは、心のノートに自分の思いを書き込んでいるように見えました。お話では、荒木幸子先生が、小学校の4年生だったこと、妹様を守るための必死で防空壕まで背負って歩いた時の気持ちなどのエピソードなどをあたかもそこに私たちがいるかのように鮮明に語っていただきました。幸子先生にとっては辛いお話であったにもかかわらず、被爆された当時のお話を、自分の分身であるかのように子ども達に伝えてくださったのです。言葉にならないくらい感動いたしました。荒木先生は、「日本の代表者として心を強く持って生きてください。皆さんの顔を見ると日本の代表者としての未来が見えます。安心ですね。」とおっしゃいました。（ちなみに荒木幸子先生は私の約36年前の新規採用時の指導教官であられた方でございます。新採の時は毎日私の教室で給食を食べてくださいました。本日は36年ぶりに一緒に給食を食べていただきました。）



p.s.私の尊敬する恩師の荒木幸子先生の、座右の銘は「一生懸命」

介護福祉士のボボロさんの吉原先生の座右の銘は「為せば成る」

ずっと荒木幸子先生を見守ってらっしゃった吉原先生は「笑顔」の言葉を修学旅行に行く伊岐須小の6年生と引率すると私共職員に贈る言葉としていただきました。どうか皆様益々のご活躍を祈念いたします。本日はまことにありがとうございました。



伊岐須小校区のタイガーマスクのみなさま・・・

どなたが除草作業をしてくださったのかを(..)

今 お探ししているところです。



名前も告げず、
ナデシコの花を少し残して下さり、周りの雑草をすべて跡形もなく取ってくださった方々がいるのです。いきいき伊岐

須小のタイガーマスクさんありがとうございます。(..)

p.s.私は・・・環境は人をつくり・・・人がその環境をつくるしかないのです。私と同じ気持ちを持たれた方が地域にお住まいであることに感動いたしました。



劇団「さんぽ」さんからグ

ッドニュース：見つめるとミル

ミル勇気のでるサイン色紙をフ

レゼントされました。(明日には

掲示いたします。) よかったです

ね。(^-)-☆

